

ユピテル工業株式会社
YUPITERU

このたびは、ユピテル「ラクシスVE-K2」をお買い上げ
いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、
いつでも見られる場所に大切に保管してください。

オートキーレスシステム
VE-K2

6SS0693-B

取付・取扱説明書

取り付けの前に（安全上のご注意）

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付け、お使いください。ここに記載された注意事項は、取付・接続作業をするかたお客様への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをするとき生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

- 警告

警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。
- 注意

注意を無視した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

警告

取り付けには、専門知識が必要です。
安全のため、お取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様に依頼ください。
・本機は販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
・お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行っておりません。
・お客様ご自身で取付けられた場合の保証は受けられません。

注意

取り付けできる車種を、確かめください。
本機を取り付けられる車は、弊社オートキーレス適用表で適用車種としての記載のある車のみです。適用に関するお問い合わせは、最寄の弊社ご相談窓口にお問い合わせください。
■ 次の2つの条件を満たしている車に取り付けられます。
・オートキーレス適用表に適用車種として記載のある車
・12V車で、ⓐアースの車
※ 他社製エンジンスタター、ターボタイマーとは併用できません。

警告

安全に作業をしていただくため取り付ける前に、次の4つのことを必ず守ってください。

・ソフトレバーをパーキング(P)ポジションにします。

・キーを抜きます。

・ショート事故やエアバックの誤動作防止のため、バッテリーのマイナス端子をはずしておきます。

・ブレーキブレーキを確実にかけます。

・フット式 サイド式

①

取り付け作業は、必ずエンジンが止まっている状態のときに行う…火傷する恐れがあります。

②

エアバッグ系統の配線およびコネクタには触れない…エアバッグシステムに異常をきたす場合があります。

③

メインユニットの取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付ける

④

メインユニットは、取り付け・接続後、しっかりと固定する…運転中に落下すると大変危険です。

⑤

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⑥

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない…故障や火災の原因となります。

⑦

バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

⑧

12V車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。本機はマイナースアース専用です。

⑨

エアバックの近くに取り付けたり、配線をしていない…万のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コードなどが妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⑩

取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

⑪

心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、電波による医療機器への影響を、医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	VE-K2
お買い上げ日	年 月 日
お名前	〒
お客様ご住所	TEL()
販売店名	店住所

上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店が発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名などを証明するものを、お送りください。

基本接続図とセット内容

接続前に、セットの内容をお確かめください。

●メインユニット（1）

赤線 (1.1m+0.45m)

青/黒線 (0.35m)

黄/黒線 (0.35m)

緑線 (1.5m)

緑/黒線 (5m)

緑/赤線 (4m)

紫線 (1.5m)

同軸線 (2m)

橙線 (0.45m)

青線 (1.5m)

黒線 (1.5m)

常時電源 (+B)

車のキーを抜いた状態でも通電している (常時+12V) 線に接続 ※オーディオ用+B電源など。

キーレスエントリー線接続コネクタ

ハザード制御線

弊社エンジンスタターを併用する場合に接続 エンジン始動時にハザードランプを3回点滅してお知らせします

ハザード線

ハザードランプのプラス側に接続

エンジンスタター接続線

弊社エンジンスタターと併用する場合に接続

アンテナ線

未使用

※絶縁テープなどでテーピング処理してください。

アクセサリ電源

車のキーと連動してON/OFFする電源線に接続 ※オーディオ用ACC電源など。

アース線

車の塗装されていない既存のビスなどに接続

△注意

ハザード制御線、ハザード線、エンジンスタター接続線の各線に接続がない場合は絶縁テープでテーピング処理をしてください。

動作中は、各線に電圧が出力され、ショートなど機器の故障につながります。

●キーレスエントリー線（1）

青/黒線 (2.2m)

黄/黒線 (2.2m)

逆流防止ダイオード

車のドアロック・アンロック信号線に接続します

●リモコン（1）

両面テープ（1）

リモコン用電池：CR2025（2）

エレクトロタップ（5）

タイラップ（大1、小2）

コードクリップ（2）

取付・取扱説明書/保証書（本書）（1）

エレクトロタップの使いかた

各線は以下の手順で接続してください。

① 各線を図のストッパーに突きあて、車のコードを通して矢印のように折り返す。

② もう1度、矢印のように折り返す。

③ プライヤーなどで、ラッチがかむまで締め付ける。

④ 絶縁テープを巻く。

※ 接続された箇所(エレクトロタップ部)は、ショートや振動などにより、車にトラブルを起こす原因となることがあります。必ず絶縁テープでテーピングしてください。

1 キーレスエントリー線の接続

キーレスエントリー線接続コネクタに付属のキーレスエントリー線を接続します。接続したキーレスエントリー線の青/黒線を車のドアロック信号線、黄/黒線を車のアンロック信号線にエレクトロタップで接続します。ただし、車種ごとにコントロールが異なるため、別売オプションの接続が必要となる場合があります。詳しくは、弊社ホームページ(<http://www.yupiteru.co.jp/>)のオートキーレス適応表でご確認ください。

■付属のキーレスエントリー線のみでコントロールできるタイプ

通常 両方3〜12V(車によって異なります)
ロック時 ロック信号線が0Vになり、動作後3〜12Vに戻る。
アンロック時 アンロック信号線が0Vになり、動作後3〜12Vに戻る。
※車によっては3V以下の場合があります。

■別売オプションのドアロックアダプター：A-70Ⅱを使用するタイプ

通常 両方0V
ロック時 ロック信号線が12Vになり、動作後0Vに戻る。
アンロック時 アンロック信号線が12Vになり、動作後0Vに戻る。

■別売のアダプターやドアロックハーネスを使用するタイプ

サーキットテスターでは確認できません。
接続先、接続方法は販売店様向けの弊社エンジンスタター車種別専用ハーネス適応表をご確認ください。

2 ハザード線の接続

ご注意 ハザードランプの制御はメインユニットが行いますので、ハザード線の緑/黒線・緑/赤線を直接左右のハザードランプに接続してください。

左右のハザードランプのプラス側配線に緑/黒線・緑/赤線を接続する。

緑/黒線(5m)・緑/赤線(4m)は長さ異なります。緑/赤線をメインユニットに近いランプに接続してください。また、車輻によっては左右、前後別系統の配線になっている場合があります。このような場合は緑/黒線・緑/赤線を分岐して各ランプのプラス側配線に接続してください。

※本体や車輻故障の原因になる恐れがあるため、運転席周辺のハザードスイッチには接続しないでください。

※接続は「エレクトロタップの使いかた」を参照して行ってください。接続後には、必ず接続部を絶縁テープでテーピングしてください。

緑/赤線

エレクトロタップ

3 電源ラインの接続

●赤線の接続(+B電源の接続)

赤線は車のキーを抜いた状態でも通電している(常時+12V)線(オーディオ用+B電源など)に、接続します。
※機器の保護のため、ヒューズホルダーを取り付けた状態(右図参照)で接続してください。

●青線の接続(アクセサリ電源の接続)

青線は車のキーと連動してON/OFF(12V/0V)に変化する線(オーディオ用ACC電源など)に、接続します。

●黒線の接続(アース線の接続)

黒線は車の塗装していない既存のビスなどに、しっかりと共締めしてください。

※電源ラインを接続して、本機リモコンがアンテナ線の近く(最小範囲内)にあるとアンロックエリアの最小範囲目安を示すピープ音(ビップ)が連続してメインユニットから鳴ります。アンテナ配線の際にアンロックエリア最小範囲の目安としてください。ピープ音は本機リモコンをアンロックエリアの最小範囲より外に移動すると停止します。また、エンジンキーをACCにすると、ピープ音が完全に停止します。詳しくは「4 アンテナ線の取り付け」をご参照ください。

●メインユニット

赤線 (1.1m+0.45m)

青線 (1.5m)

黒線 (1.5m)

車のキーを抜いた状態でも通電している線にエレクトロタップで接続

車のキーと連動してON/OFFに変化する線に接続

車の塗装されていない既存のビスなどに接続

4 アンテナ線の取り付け

■アンテナ線の取り付け目安

アンテナ線は、まずメインユニットから運転席ドア方向に運ばせ、インパネとドアの間の隙間に沿ってフロントダッシュボードとビラーの接続部まで持っていき、フロントダッシュボードとフロントガラスの隙間に沿って助手席側に運ばせず。

※アンテナ先端部(約10cm)はすき間に入れたままにせず、フロントガラスから1〜2cm程度離してダッシュボードの上に設置してください。

※アンテナ線はまるめたり、他の電源線や信号・アース線などと束ねたりせずに、すべての長さ(約2m)を使って上記配線方法にしたがって取り付けてください。

※ラジオ、オーディオ、テレビなどの近くに配線すると、それらの影響で通信距離が短くなる場合があります。また、それらの機器でノイズが発生する場合があります。

■確認準備

リモコンのオートキーレス機能はONにして(電池を入れたときはONになっています)、運転席側の窓は開けた状態にしてください。

メインユニットの常時電源(赤線)を1度ははしてから接続しなおしてください。リモコンがアンロックエリアの最小範囲内であれば、メインユニットから約1秒間隔でピープ音(ビップ)が鳴ります。

ピープ音が確認できたら、すべてのドアを閉め、下記項目の確認を行います。

■確認項目

① キーシリンダー付近およびフロント座席の上にリモコンを置いて、ピープ音が連続して鳴っていることを確認する。

ピープ音が鳴らない場合はリモコンをアンテナ先端に近づけ、音が出ることを確認してください。近づけてもピープ音が出ない場合は、接続が間違っているか故障の可能性があります。アンテナからわずかに離しただけで音が出なくなってしまう場合は、他の線を一緒に束ねたりしていないか確認しながら、アンテナの位置や配線を変更してください。

② 運転席窓付近でリモコンを手にとってピープ音が鳴る。

ピープ音が鳴らない場合はアンテナ線をまるめたり、束ねたりしていないか確認してください。また、アンテナ線先端部分を金属から離してください。

③ 運転席ドアから1〜3m離れたらピープ音が止まる。

④ ①〜③の項目がクリアできるようにアンテナ線を取り付けてきたら、一度、エンジンキーをOFF→ACC→OFFにする。

取付例

アンテナ線

コードクリップ

※上記取付例は、あくまでも目安であり、お車の構造によっては異なります。

上記アンテナの仮取り付けが終わったら、右記方法でアンロックエリアの最小範囲を確認してください。

5 弊社エンジンスタターと併用する場合

ユピテルのエンジンスタターとラクシスVE-K2を併用する場合は、以下のように接続してください。

※ユピテルのエンジンスタターでエンジンスタター接続線の端子があるものと併用できます

※ラクシス VE-K2やユピテルのエンジンスタターのリモコンはそれぞれ専用品となり、併用する場合は、2つのリモコンを携帯していただく必要があります。

概略図

※すでにユピテルのエンジンスタターのドア制御機能を使用している場合、VE-K2に付属しているキーレスエントリー線は使用しません。

VE-K2 (またはエンジンスタター)

ハザード制御線 緑線

エンジンスタター (またはVE-K2)

エンジンスタター接続線 紫線

青/黒線

黄/黒線

逆流防止ダイオード

青/黒線

黄/黒線

コネクタと逆流防止ダイオードの間をエレクトロタップで接続

車輻のドアロック/アンロック信号線に接続

接続図

●エンジンスタター

コネクタ-2

青/黒線

黄/黒線

青/黒線

黄/黒線

ハザード制御線 緑線

エンジンスタター接続線 紫線

ハザードランプ接続線 緑/赤線 4m

ハザードランプ接続線 緑/黒線 5m

ハザードランプのプラス側配線に接続

ハザードランプのプラス側配線に接続

●VE-K2

カット

車のドア制御信号線に接続 (ロック側)

エレクトロタップで接続

車のドア制御信号線に接続 (アンロック側)

アンロック出力線(黄/黒線)

ドアロック出力線(青/黒線)

6 配線処理について

すべての取り付けが終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。配線処理は、各ユニットの操作性やケーブル類の長さ、配線場所などを十分考慮して、位置や向きを決めてください。

■タイラップによる配線処理

ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに付属のタイラップを用いて共締めします。

余分なケーブルは束ねて共締めしてください。

※アンテナ線はまるめたり、他の電源線や信号・アース線などと束ねたりせずに、「アンテナ線の取り付け」にしたがって取り付けてください。

■コードクリップによる配線処理

配線の車室内に見える部分は、ケーブル類が垂れ下がらないようコードクリップを使ってケーブルを固定します。

■ハザードランプへの配線処理について

ビラーとドアのすき間から車内に線を引き込んだ場合、ドアの開閉時に線が噛まないように少したるみをわたせたうえで、コードクリップを使って固定してください。

■コードクリップの使いかた

コードクリップを曲げてケーブルを挟み、両面テープを使って貼り付けます。

※アンテナ線はまるめたり、他の電源線や信号・アース線などと束ねたりせずに、「アンテナ線の取り付け」にしたがって取り付けてください。

タイラップ

コードクリップ

■ご使用の前に

△注意 本機の機能について

ご使用の前に、この「本機の機能について」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 車から離れたときは、車のキーと本機のリモコンを必ず携帯してください。車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、故障などの場合において、本機リモコンではドアアンロックができなくなります。またラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアアンロックできない場合があります。エンジンキーでエンジンを始動している場合(ACC)や、弊社指定以外のエンジンスターターでエンジン始動中は、本機リモコンのオートキーレス機能によるドアのロック/アンロックはできません。※併用可能なエンジンスターターはオートキーレス適応または弊社ホームページでご確認ください。
- ドアロック操作は、ドアのロックが確認できる範囲でご使用ください。

- ※マニュアル操作はアンロックエリア外からも操作できます。
- ※オートキーレス機能をご使用になる場合は、ドアロックが確認できる範囲にアンロックエリアを切り換えて使用してください。
- ※オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲(距離)が異なります。ドアを開けた直後は設定したアンロックエリアより車輦寄りでロックします。
- 本機はダブルロック機能により、アンロックエリアよりさらに遠ざかると、約16秒後に再度ドアロックを行います。
- カーセキュリティと併用する場合は、ドアロック/アンロック時にセキュリティが反応する場合があります。セキュリティを設定する前に、マニュアル操作でドアロックを行ってください。
- 1BOXカーなどでリアハッチを開ける場合や、アンロック状態にしておきたい場合は、エンジン停止状態でエンジンキーをACCにしてください。

本機取り付けによる車や車載品の故障、事故など付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

リモコンの電池の入れかた

ご購入後は、はじめて本機を使用するときは以下の手順で付属の電池を装着してください。

また、リモコンのインジケータランプが点滅したら(ローバッテリー表示)、同様の手順で新しい電池(CR2025×2)と交換してください。

- 1 リモコンケース裏面のビスをはすし、裏蓋を開ける
- 2 電池を入れる
※電池の向きに注意してください。
- 3 裏蓋を閉じ、ビスを締める
※電池を交換すると、「オートキーレス機能を使用する」に設定されます。

△警告
使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万お子様がお飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池寿命の目安
※電池の寿命は、使用する条件によって異なります。オートキーレス機能を使用して、約1年使用できます。
※指定の電池(CR2025)以外は使用しないでください。
※交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。また、交換時には電池の向きを間違えないようにご注意ください。

リモコンを車内に放置しないでください。
荷物の積みおろしなどで、ドアアンロックを維持する場合は、エンジンキーをACCにしてください。(オートキーレス機能中、車内にリモコンを放置していると、人の移動やドアの開閉などで、電波の受信状態が変化し、ドアがロックされることがあります)

ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)システムについて

オートキーレス機能について

「ラクシス」は、従来のキーレスエントリーシステムからリモコン操作を不要にした次世代キーレスエントリーシステムです。リモコン所持者が「車から離れたとロック(施錠)」「車に近づく」とアンロック(解錠)を自動で行うだけでなく、ドアロック/アンロックをハザードランプの点滅(1回/2回)でお知らせするハザードアンサーバック機能や色々なシーンを想定した3つの安心ロック機能を標準装備しています。楽々キーレスシステム「ラクシス」で、もっと快適なカーライフをお楽しみください。

オートキーレス機能を停止して、ボタン操作(マニュアル操作)のみでドアロック/アンロックすることや、オートキーレス機能設定時でも、ボタン操作(マニュアル操作)でドアロック/アンロックすることもできますので、必要に応じてお使い分けください。

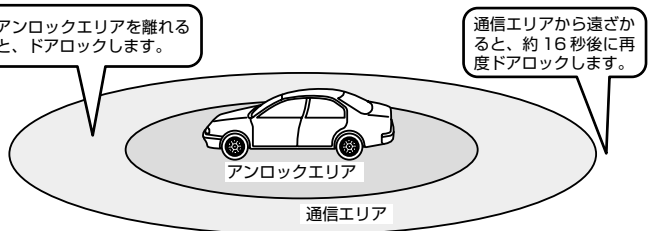
※ドアロック操作は、ドアのロックが確認できる範囲でご使用ください。

安心のロック機能について (ダブルロック機能、センシングリロック機能、モーションロック機能)

本機は色々なシーンを想定して、3つの安心ロック機能(ダブルロック、センシングリロック、モーションロック)を備えていますので、安心してご使用いただけます。

ダブルロック機能

ドアロック後、さらに車から遠ざかり、リモコンの電波がまったく届かない状態(通信エリア外)が約16秒続くと、もう一度ドアをロックします。リモコン所持者が車から離れた後、同乗者が車から降りたシーンを想定した機能で、同乗者の鍵の閉め忘れもしっかりガードします。



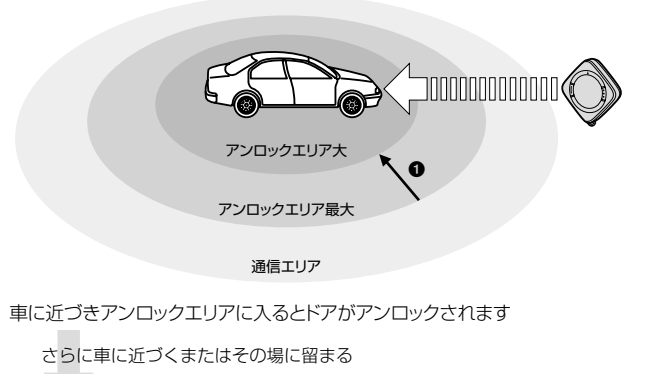
※一部の車輦において運転席がロック状態にあると運転席以外のドアがロックされないことがあります。本機はこのような車輦でも、確実にドアをロックするためにダブルロック時は一度アンロック動作後にドアをロックする安全機能(反転動作)を備えています。取付車輦の動作をご確認のうえ、ドアロック時の動作を設定してください。(このページの「取り付け車輦のドアロック時の動作を確認する」をご参照ください)

センシングリロック機能

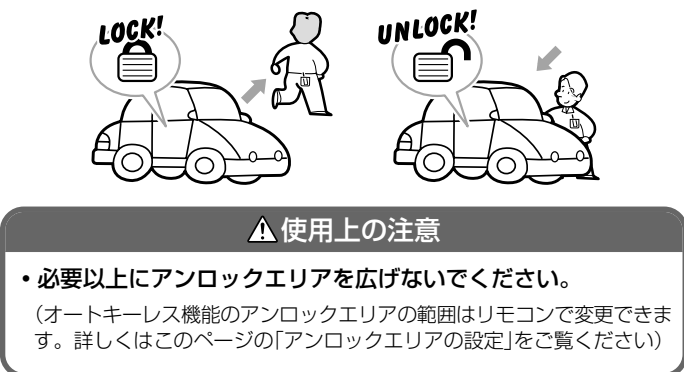
通信エリア外から車に近づきアンロックした後に、エンジンキーがACCにならずに20秒経過するとアンロックエリアを自動的に1段階縮小して、リモコン所持者が車に近づいていることを確認します。(近づかなければ1段階縮小したアンロックエリアにリモコンがないのでロックします)コンビニエンスストアなど駐車場と店舗が隣接している場所では、不意に車に近づいてしまうことがありますが、このような場合でも、さらに車に近づかなければロックするので安心です。

※マニュアルアンロック操作では、センシングリロック機能は動きません。
※1BOXカーなどでリアハッチを開ける場合や、アンロック状態にしておきたい場合は、エンジンキーをACCにしてください。

●センシングリロック機能の動作 (アンロックエリアを最大にしている場合)



20秒以内にエンジンキーがACCまたはドアが開いたことを検出できないうとアンロックエリアが最大から大(1段階下げる)に変更(矢印①)。
※アンロックエリア最大範囲内に20秒以上留まったときはドアがロックされます。
※エンジンキーをACCにすると設定エリアに戻ります。



●必要以上にアンロックエリアを広げないでください。
(オートキーレス機能のアンロックエリアの範囲はリモコンで変更できます。詳しくはこのページの「アンロックエリアの設定」をご覧ください)

安心のロック機能について (ダブルロック機能、センシングリロック機能、モーションロック機能)

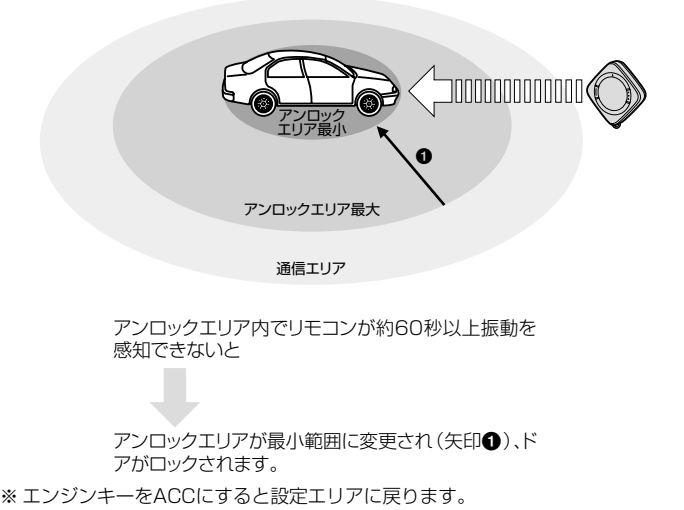
本機は色々なシーンを想定して、3つの安心ロック機能(ダブルロック、センシングリロック、モーションロック)を備えていますので、安心してご使用いただけます。

モーションロック機能

本機リモコンは内蔵の振動センサーで所持者の動きを認識します。通信エリア外から車に近づきアンロックした後に、リモコンを放置(振動がない)すると、電波を停止する前にアンロックエリアを自動的に最小エリアに縮小して、ドアをロックします。飲食店など駐車場と店舗が隣接している場所を想定して、不意なアンロック状態回避するための機能です。

※モーションロック時のロック動作はこのページの「ダブルロック時動作設定」で設定した動作となります。
※マニュアルアンロック操作では、モーションロック機能は動きません。
※1BOXカーなどでリアハッチを開ける場合や、アンロック状態にしておきたい場合は、エンジンキーをACCにしてください。

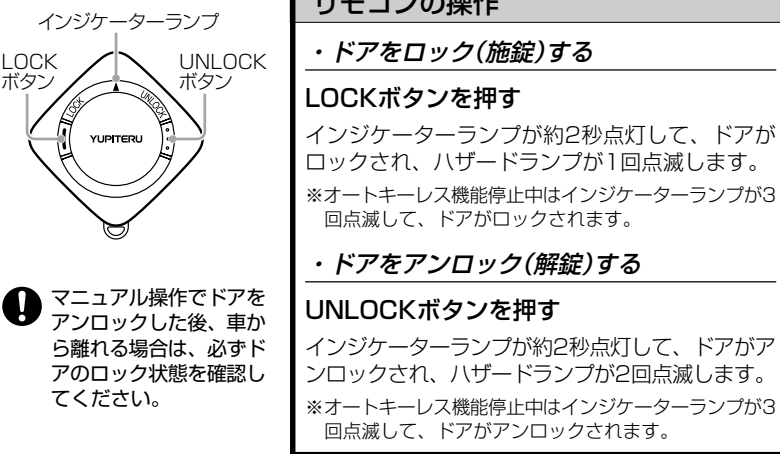
●モーションロック機能の動作(アンロックエリアを最大にしている場合)



20秒以内にエンジンキーがACCまたはドアが開いたことを検出できないうとアンロックエリアが最大から大(1段階下げる)に変更(矢印①)。
※アンロックエリア最大範囲内に20秒以上留まったときはドアがロックされます。
※エンジンキーをACCにすると設定エリアに戻ります。

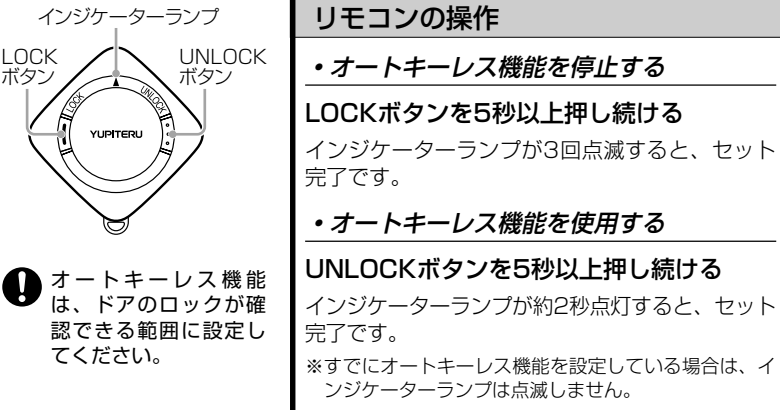
マニュアル操作によるドアのロック/アンロック操作について

オートキーレス機能設定中/停止中にかかわらず、マニュアル操作でのドアのロック/アンロックができます。



オートキーレス機能を使用する/停止する

安全のため、エンジンが停止している状態で設定を行ってください。また設定中、リモコン操作によって車のドアがロック/アンロックされますのでご注意ください。



※マニュアル操作はアンロックエリア外からも操作できます。
※オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲(距離)が異なります。

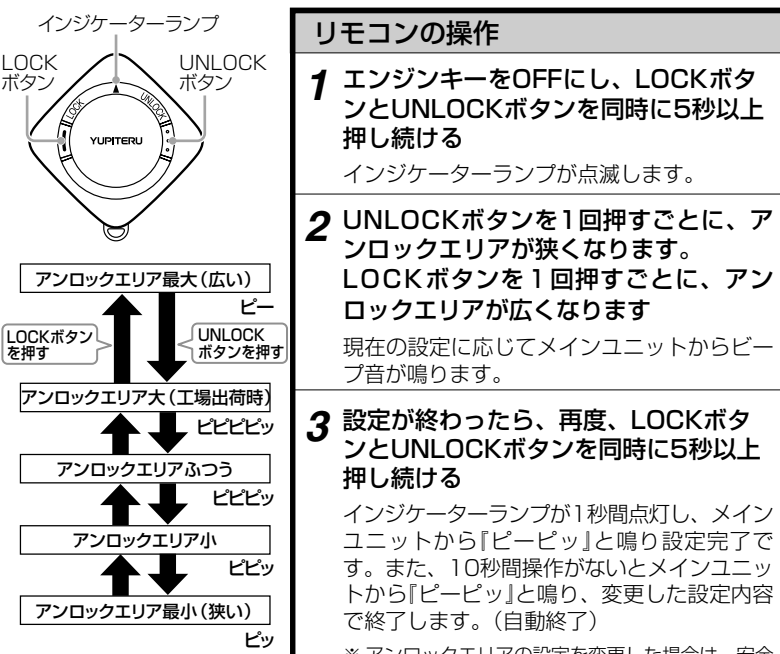
ローバッテリー時の動作について

リモコンの電池が消耗すると、常時インジケータランプが点滅して電池が消耗していることをお知らせします。このような場合は早めに新しい電池と交換してください。さらに電池の消耗が進むと、インジケータランプの点滅が消えて、リモコンによるドアロック/アンロック操作ができなくなります。ローバッテリー表示中は自動的にオートキーレス機能を停止します。(ドアロック/アンロックはマニュアル操作でのみ動作します)また、電池交換後は「オートキーレス機能を使用する」に設定されますので、必要に応じてオートキーレス機能の停止やアンロックエリアの変更を行ってください。

アンロックエリアの設定

アンロックエリアは、状況に応じて5段階に変更できます。(工場出荷時はアンロックエリア大に設定されています) ドアロックが確認できる範囲にアンロックエリアを切り換えて使用してください。アンロックエリアの変更は、車内でエンジンキーを抜き、エンジンが停止した状態で行ってください。

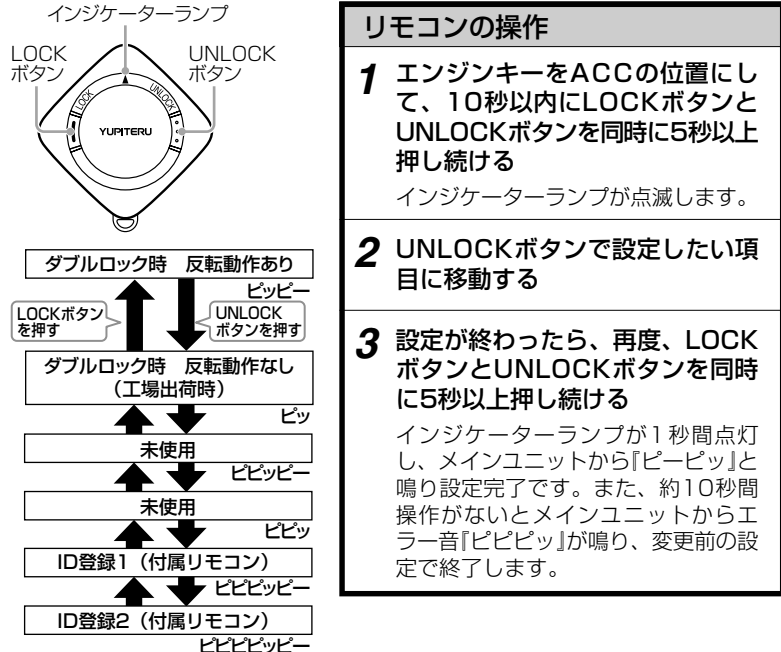
※設定操作は車内で行ってください。
※オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲(距離)が異なります。ドアのロックは、アンロックの動作よりも比較的に遠い距離で動作します。



※アンロックエリアの設定を変更した場合は、安全のため、必ず実車にてご確認ください。周囲の環境によっては設定した状況と使用状況に差が生じることがあります。

各種設定

※設定操作は車内で行ってください。
※各種の設定を同時にすることはできません。
※設定は車を安全に停車して、エンジンを止めた状態で行ってください。



一部の車輦において運転席がロック状態にあると運転席以外のドアがロックされないことがあります。本機はこのような車輦でも、確実にドアをロックするためにダブルロック時およびモーションロック時は一度アンロック動作後にドアをロック(反転動作)する安全機能を備えています。

反転動作ありに設定する

※工場出荷時は「反転動作なし」に設定されています。
1 エンジンキーをACCの位置にして、10秒以内にLOCKボタンとUNLOCKボタンを同時に5秒以上押す
インジケータランプが点滅し、メインユニットから「ピーピー」と鳴ります。
2 再度、LOCKボタンとUNLOCKボタンを同時に5秒以上押す
インジケータランプが1秒間点灯し、メインユニットから「ピーピー」と鳴り、設定終了です。また、約10秒間操作がないとメインユニットからエラー音「ビビビ」が鳴り、変更前の設定で終了します。
※「反転動作あり」から「反転動作なし」に設定する場合は、手順 1 のあと、UNLOCKボタンを1回押してから、再度LOCKボタンとUNLOCKボタンを同時に5秒以上押してください。メインユニットから「ビビ」と鳴ります。

取付車輦の動作を下記手順でご確認のうえ、ダブルロック時の動作を設定してください。

※付属のキーレスエントリー線を接続してからご確認ください。

取り付け車輦のドアロック時の動作を確認する

- 1 運転席ドアをロックし、その他のドアをアンロック状態にしてすべてのドアを閉じる
- 2 本機リモコンのLOCKボタンを押し、ドアロックを行う
- 3 すべてのドアがロックされていることを確認。すべてのドアがロックされていない場合は、安全上ダブルロック時に一度アンロックしてからロックを行う反転動作ありの設定をおすすめします

リモコン登録

付属のリモコンのほかにもリモコンの追加(付属リモコンを含めて合計2個まで)ができます。
※設定操作は車内で行ってください。
※各種の設定を同時にすることはできません。
※設定は車を安全に停車して、エンジンを止めた状態で行ってください。

リモコンの操作

- 1 付属のリモコンの電池を外し、追加するリモコンに電池を装着する
※本紙「リモコンの電池の入れかた」をご参照ください。
- 2 エンジンキーをACCの位置にして、10秒以内に新しいリモコンのLOCKボタンとUNLOCKボタンを同時に5秒以上押す
インジケータランプが点滅します。
- 3 ・リモコンを追加して使用する場合UNLOCKボタンを5回押す
メインユニットから「ビビビビビビ」と鳴り、リモコンが登録されます。
・リモコンを紛失または故障した場合UNLOCKボタンを4回押す
メインユニットから「ビビビビビビ」と鳴り、リモコンが登録されます。
- 4 再度、LOCKボタンとUNLOCKボタンを同時に5秒以上押す
インジケータランプが1秒間点灯し、メインユニットから「ピーピー」と鳴り、登録完了です。また、10秒間操作がないと、メインユニットからエラー音「ビビビ」が鳴り、登録されません。

仕様

■受信機(メインユニット)		■送信機(リモコン)	
受信周波数	314.950MHz	送信周波数	314.950MHz
電源電圧	12V/車専用(DC9~16V)	適合技術基準	微弱無線機
消費電流	待機時: 約4mA~8mA	電波型式	F2D
動作温度範囲	-20℃~+60℃	送信出力	500μV/m以下
寸法	81(W)×24(H)×60(D)mm (ケーブル含まず)	使用電池	リチウム電池 CR2025×2
重量	140g(ケーブル含む)	動作温度範囲	-10℃~+50℃
		寸法	31(W)×80(H)×12(D)mm
		重量	27g(電池含む)

アフターサービスについて

- 保証書(本書)
保証書は、必ず販売店名・お買い上げ年月日などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
 - 保証期間
お買い上げの日から1年間です。
 - 対象部分
機器本体(電池など消耗部品は除く)
 - 修理を依頼されるとき
本書をお読みになり、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。
 - 保証期間中
恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。
 - 保証期間が過ぎているとき
取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様ののご要望により有料修理いたします。
- 「取付・取扱説明書」にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
本機取り付けによる車や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00~18:00 (年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

※お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行っておりません。

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北1条西18丁目35-100 エアリアル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区御町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。